

Made in Japan 復権へ

株式会社小林精機

製造業  <http://www.kobayashi-seiki.co.jp>

海外に遅れた製造業のデジタル化

かつて技術力で世界を席巻してきた日本の製造業。それが今、窮地に立たされている。決して技術力が衰えたわけではない。日本の中小企業が持つ技術は、今も世界トップクラスだ。課題となっているのはデジタル化の遅れと、それによる競争力の低下だ。デジタル化に遅れた中小製造業では顧客要望に対応しきれず、海外製造工場の高効率なデジタル生産システムにも出遅れてしまっている。日本の製造業では、この遅れを取り戻し競争力を高めるため、高効率化により利益を最大化するための「守りのIT投資」に加え、市場ニーズ開拓や新技術開発のための「攻めのIT投資」が求められている。

要望の実現 変化への追従

小林精機では、センサーによる機械稼働率など、IoTやAIをはじめとする先端技術を活用した生産性の向上を実現している。さらに、メカトロニクスとICTの産学共同研究により、社内外の自動化・省力化を実現する製品の開発を推進している。こうした「攻守のIT投資」により、強みである大手メーカーの要望を実現する対応力、変化への追従力をさらに強化していく。メイドインジャパンの技術力・品質力により高い水準を保ったまま、海外に遅れをとらず、勝っていくための競争力を追求し続ける。

SDG s との両立

持続可能な社会づくりは、個人、企業、地域、国、世界の全ての人々が負うべき責任だ。小林精機では、地域の将来を担う子ども達のため職業体験や出前授業などを積極的に行い、機械加工の楽しさを伝えている。また、環境負荷物質非含有材料の使用推進や、切削屑・廃油のリサイクルを行い、環境負荷低減にも積極的だ。デジタル対応だけではなく、持続可能な社会づくりに向けて顧客や地域と連携を強固にし、取組みをさらに進めていく。

代表者からのメッセージ

代表取締役社長

小林 要



私達の役割は金属を通して人々の生活を支える力になることです。さまざまな業界、業種の企業から頂く要望に、多品種少量、量産、特殊材料など、あらゆるオーダーにスピーディーかつ確実に対応できるのが我が社の強み。自然環境に恵まれたこの岩手という地に軸足を置いて、産学官連携によって様々な技術力を培い、世界との競争に打ち勝つ「メイドインジャパン」にこだわったものづくりをしています。

キラリPoint▶▶▶



Company DATA

- 事業内容/①部品各種精密機械部品の切削加工、及び、自動化省力化機器の設計製造
- 資本金/3,500万円 ■従業員数/131名(女性 35名) ■平均年齢/40.2歳
- 設立/1977年2月 ■売上高/18億1,700万円
- 初任給/180,000円(大卒) 170,000円(短大・専門学校卒) 150,000円(高卒)
- 福利厚生/社会保険完備、住宅手当、通勤手当、財形貯蓄、退職金制度あり、温泉付き保養寮、社員旅行
- 休日・休暇/土、日(稼働カレンダーによる)、GW、夏季、年末年始休暇、年間休日110日(直近実績)

【本社所在地】 〒020-0757 滝沢市大釜風林3-21 ☎019-686-1166

